



2025年4月開講 受講生募集中

農とくらしのミライ塾

持続可能な社会に向けて、人にも環境にも優しい農法で作物を育て、
くらしにつながる課題にも目を向けよう！
これからのくらし方をともに学び、考え、そして、未来につなぐ。

年間を通じた作物栽培
米作り 種とり
堆肥作り コンポスト
生物多様性
再生可能エネルギー
エシカル消費
山・川・里・海のつながり
里山活動 コミュニティ



実施日：2025年4月～2026年2月の木曜日（月2～3回）

定員：15名（多数の場合抽選）

対象：18歳以上

受講料：年間36,000円（税込み）

場所：西宮市鷲林寺地区

主催：生活協同組合コープこうべ第2地区本部

運営：有限会社 Kuse○Farm

※詳しくは裏面をご参照ください

現地見学会

3月13日(木)11:15～

3月20日(木/祝)14:00～

お申込みは裏面をご参照ください

農とくらしの多様なつながりから考える 持続可能なくらしと地域

世界の人口が増え続ける中、日本では、人口が減少し急速なスピードで少子高齢化が進んでいます。食に目を向ければ、およそ6割を外国から賄いながらも、まだまだ多くの食べものが捨てられています。また地球温暖化が影響しているとも言われる異常気象は、農業にも深刻な影響を与えています。今あるくらしを見直し、よりよく暮らしていくために。コープこうべ第2地区本部では、持続可能な社会に向けた、場作り、人作りを目的に本講座を実施します。

スケジュール

2025年4月17日～2026年2月26日の木曜日 9時30分～12時実施（夏期：9時～11時30分）

講義：15回（主に第2木曜、月に2回の時もあります）

実地実習：15回（畑・田んぼ・社家郷山などでの実習）

その他、自由参加（補習）の実地実習日もありますので、栽培技術を身につけたい方、より多く土や野菜に関りたい方はぜひご参加ください。

（実施月と講義 / 主な実地実習内容）

4月	開講式 オリエンテーション / 米苗作り	10月	米と麦：二毛作と生物多様性 / 稲刈り、脱穀
5月	山とのつながり 兵庫県の林業の現状 / 間伐体験	11月	畑の環境改善と落ち葉の活用 / 麦の種まき、サツマイモ収穫
5月	くらしの循環 竹パウダーコンポスト / 夏野菜植え付け	12月	再生可能エネルギーとSDGs / 大豆収穫、しめ縄作り
6月	田んぼの役割と水のつながり / 田植え、大豆の苗作り	1月	アウトプット イベント企画 / 大豆選別、堆肥作り
7月	山と農地の植生（植生調査） / 野草の観察、大豆植え付け	1月	エシカル消費 / 冬野菜栽培振り返り、麦踏み
8月	海とのつながり 兵庫県の漁業の現状 / 冬野菜苗作り	2月	地域活性化（事例紹介） / 活動の振り返り、味噌作り
8月	冬野菜栽培計画、夏野菜栽培振り返り / 畝立て、苗作り	2月	修了式 これから取り組んでいきたいこと
9月	固定種と交配種 / 種とり、道具メンテナンス	3月	イベント出店予定

実地実習

- 夏野菜栽培/冬野菜栽培（耕耘、畝立て、種まき/苗作り、草管理、水やり、収穫、撤収など）
- 米作り体験（種まき/苗作り、代かき、田植え、草引き、稲刈り、脱穀、しめ縄作りなど）
- ポカシ肥料作り、堆肥作り、草刈りなどは、随時必要に応じて作業します。
※農薬や化学肥料は使用しません。
- 社家郷山での間伐体験

問合せ・申込み

受講・見学をご希望の方はこちらからお申し込み下さい

有限会社 Kuse○Farm（クセマルファーム）

担当：久世（クセ）

TEL：070-9098-2398

E-mail：info@kusemarufarm.com



有機農業をベースに、生産者と消費者のより良い関係をつくる CSA（Community Supported Agriculture：地域支援型農業）を展開。山と海をつなげる農業の役割に着目し、次世代のみならず多くの世代に向けた農的学びの機会を提供しています。

実施場所

農地：西宮市鷺林寺2丁目

（阪神バス甲山墓園前より徒歩8分）

講義は、農地や近隣施設、西宮市内会議室で行います。



活動フィールドでもある社家郷山は、生物多様性保全上重要な「里地里山500」（2015年環境省）に選ばれ、「ひょうごの森づくり活動賞」（2019年、兵庫県）、全国育樹活動コンクール「林野庁長官賞」（2023年、国土緑化推進機構）を受賞しています。また、本講座はSDGsとも関連付けて取り組んでいきます。

※主に関連する目標↓



2025年度 コープこうべ第2地区本部主催 農とくらしのミライ塾

月	日	セミナー	畑、田んぼ	実習日
4月	17	① 開講式(年間スケジュール、栽培について)	社家郷山～農地を見学	
	24			1 米苗作り、ポカシ作り
5月	1			2 夏野菜の植え付け
	8	② 「コープの森・社家郷山の取り組み」と林業の現状	間伐体験	
	15			畝立て 夏野菜のお世話
	22	③ ぐらしの循環 竹パウダーコンポスト	夏野菜植え付け	
	29			夏野菜のお世話
6月	5			3 田植え準備、代かき
	12	④ 田んぼの役割と水のつながり	田植え、サツマイモ植え付け	
	19			夏野菜のお世話
	26			4 大豆の苗作り、田んぼの草抜き
7月	3			夏野菜のお世話、苗作り準備
	10	⑤ 野草の観察 ※日程変更の可能性あり	大豆植え付け	
	17			5 田んぼの草抜き、キャベツ苗作り
	24			6 畝立て、人参種まき
	31			草抜き、草刈り、苗作り準備
8月	7	⑥ 山・川・海のつながり 兵庫県の漁業の現状	夏野菜観察、苗作り	
	14	お盆休み		
	21	⑦ 冬野菜栽培計画、夏野菜栽培振り返り	畝立て、苗作り	
	28			7 コンポストエリア作り、苗作り準備
9月	4			道具のメンテナンスなど
	11	⑧ 固定種と交配種 種をとるということ	種とり、苗作り	
	18			8 畝立て、大根種まき、玉ねぎ苗作り
	25			稲刈り準備
10月	2			畝立て、苗作り準備
	9	⑨ 米と麦：二毛作と生物多様性	稲刈り	
	16			9 えんどう、ソラマメ苗作り
	23			畝立て(玉ねぎ)、えんどう苗作り
	30			10 冬野菜のお世話、脱穀作業
11月	6			冬野菜のお世話、麦栽培
	13	⑩ 畑の環境改善と落ち葉の活用	サツマイモ収穫	
	20			11 玉ねぎ植え付け、麦の種まき
	27			冬野菜のお世話、大豆収穫
12月	4			しめ縄準備、大豆収穫
	11	⑪ 再生可能エネルギーとSDGs	冬野菜収穫	
	18			12 しめ縄づくり(土台)
	25			13 落ち葉集め、ウラジロ採取
1月	8	⑫ アウトプット イベント企画	大豆選別	
	15			14 大豆の選別作業、堆肥作り
	22	⑬ エシカル消費	冬野菜栽培振り返り	
	29			麦踏み、苗作り準備
2月	5			味噌作り
	12	⑭ 地域活性化(事例紹介)	活動の振り返り	
	19			15 苗作り、冬野菜撤収
	26	⑮ 修了式 3分間スピーチ		
3月		イベント出店予定		

* 農作業については、天候や生育状況により急遽変更する場合があります。